



執行部に質問する生徒たち

中本番さながらの質疑 中学生による子ども議会

8月1日、市議会議場において中学生による子ども議会が開催されました。これは、市内の中学生が宇城市の現状と未来について質問し、市執行部の答弁等を通じて、市の取り組みや構想を理解してもらうことを目的に一昨年から行っているものです。

市内に5校ある中学校から計29人の子ども議会議員が選出され、まちづくりなどについて質問しました。傍聴席は市議会議員や学校関係者らで満席。議長役も生徒が務め、一般質問では「エコバックについて」「観光地の活性化」「宿泊研修施設の設置」「市民病院の診療科目増設と緊急時対応」「老人ホームが入った複合施設の設置」「宇城市のシンボルと市民公園の建設」などの質問がありました。

自然を満喫！ 夏休み親子カヌー教室

8月3日、豊野町の鏡ヶ池で「夏休み親子カヌー教室」が行われ、市内外から約100人が参加しました。これは、「次世代に残そう豊かな自然と心」をテーマに活動しているまちおこしグループ「夢、豊野塾！」が夏休みを利用して自然とふれあいながら親子の絆を深めてもらいたいと毎年開催しているものです。

この日、参加者は、宇城消防署隊員による救急救命法講習を受けた後、カヌーを体験しました。また、NPO「自然あそびなクラブ」による遊びのオリエンテーション、熊本市などで活動しているジェットスキーチーム「シーブリーズ」の協力によるジェットスキー・バナナボート乗船体験をして楽しみました。



身近な自然を体感！

新究極のアクロバット芸術にびっくり！ 新世紀スーパー雑技



難易度の高い技を次々と披露

7月31日、ウイングまつばせ文化ホールで中国四川省の「新世紀スーパー雑技」の公演が行われました。これは、今年度から同施設と小川総合文化センターラポート・文化ホールの指定管理者となった株式会社オカムラが行う第1回自主事業で、北京オリンピックを前に中国を代表する伝統芸術に親しむ機会として企画されたものです。

夏休みということもあって、昼夜2回公演の会場には多くの子ども連れの姿が見られ、次々に繰り広げられるスーパー雑技の数々に魅了されていました。

また、会場では松橋小学校学童保育の児童たちによって、中国四川省大地震の被災者に対する救援活動として募金活動が行われました。



大健闘した豊福小学校



全国3位だ！当尾小学校

造り物・郷土芸能・太鼓で夕涼み 松橋神社夏まつり

7月31日・8月1日、松橋町の本町・栄町・センター通り・中央商店街で「松橋神社・夏まつり」が行われ、多くの人で賑わいました。

会場となった商店街・神社境内では、郷土芸能「中町の茶碗鉢」(松橋高校生徒)や「浪曲人形芝居」(こっぱ人形劇団)・宇賀岳鬼岩太鼓などのステージイベントが行われ、造り物や保育園・幼稚園の作品展示などもありました。

また、1日にはみこし2基が繰り出され、祭りムードを盛り上げていました。これは、平成14年に商店街の若手有志が中心となって復活させたもので、以来、夏まつり恒例の出し物となっています。



みこしも繰り出し、祭りも最高潮に！

すごいぞ！ 全国大会で活躍！

第21回全国小学生ハンドボール大会が、8月1日～3日にかけて、京都・同志社大学京田辺キャンパス体育館などで行われました。熊本県の代表として、豊福小学校(男子)と当尾小学校(女子)が出場。

豊福小学校は予選トーナメント1回戦で大浜キッズ(大阪)に31-5の大差で快勝したものの、続く2回戦で優勝した安居ブルーサンダースに敗れ、決勝トーナメント進出を逃しました。しかし、すばやい動きで優勝チームを大いに苦しめる大健闘でした。

また、当尾小学校は、予選トーナメントを勝ち上がりベスト4に進出。準決勝で同じく優勝した仏生寺スポーツ少年団(福井県)に敗れたものの、3位決定戦で塩山ハンドボールスポーツ少年団(山梨県)を下し、みごと銅メダルを獲得しました。

沖メンソーレ！ 沖縄県少年フレンドシップイン九州



仲良く桜の苗木を植樹する子どもたち

7月29日、沖縄県の小中高生が宇城市を訪れ、市内の子どもたちと交流する「沖縄県少年フレンドシップイン九州」がウイングまつばせで開かれました。

これは、沖縄県内の小学生ら180人が夏休みを利用して九州各地を訪問し、交流や学習を行うツアーで、この日は市内の小・中・高校生約200人が集まり、沖縄の子どもたちを歓迎しました。

歓迎アトラクションでは、市内の子どもたちが「獅子舞」や「ちょぼくれ」を披露。沖縄の子どもたちも郷土芸能の「エイサー」を披露してくれました。

また、映像で市内名所の紹介や自作の名刺交換などもあり、最後は今回の交流を記念した桜の苗木の植樹を行い、沖縄県と宇城市の末長い友好を願いました。